

西来寺報

令和二年 春
第三十七号

お釈迦さまのこと

前回の続き

さて、スジャータの供養を受けてお釈迦様は体力を回復しました。そして悟りを得るまで立ち上がりなると決心して、ガヤーの近くのアツサツタ樹という木の下で瞑想をはじめます、その晩の初夜、中夜を過ぎて、後夜すなわち翌日の早暁に真理を悟って仏陀となりました。(仏陀とは目覚めた人という意味です)これを成道といいます。このことからアツサツタ樹を菩提(悟りをえた)樹といい、ガヤーの町を仏陀の町としてブツダガヤーと呼ばれるようになりました。お釈迦様の成道の前には悪魔の来襲ということが伝えられています。心の中に魔、つまり欲望、怒りなどの迷いの心がおきてきます。お釈迦様はその心の迷いに打

ち勝ち、成道を達成しました。これを降魔成道(ごうまじょうどう)といっています。

「梵天勸請」(ぼんてんかんじょう)お釈迦様はご自分の悟りの内容は深遠で、他の人に理解してもらおうのが難しいのではないかと、ためらっていました。それを心配した梵天(インドの神ブラフマン)が、是非お悟りの内容を人々に説いて頂きたいと懇願しました。そしてお釈迦様はお悟りの内容を人に説く決意を致します。

「初転法輪」(しよてんぽうりん)さて、お悟り内容を誰に伝えようと考え、今まで苦行を共にした5人の仲間と話そうと決めて、鹿野園(サルルナート 鹿が多くいたためこう呼ばれた)に向かいました。5人への説法は初めて法の輪をまわしたということで、初転法輪といわれています。

令和2年(2020年)年回表

百	七十	五十	三十七	三十三	二十七	二十五	二十三	十七	十三	七	三	一
回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	回忌	周忌
大正十年没	昭和二十六年没	昭和四十六年没	昭和五十九年没	昭和六十三年没	平成六年没	平成八年没	平成十年没	平成十六年没	平成二十年没	平成二十六年没	平成三十年没	令和元年没 平成三十一年没
(一九二一)	(一九五一)	(一九七一)	(一九八四)	(一九八八)	(一九九四)	(一九九六)	(一九九八)	(二〇〇四)	(二〇〇八)	(二〇一四)	(二〇一八)	(二〇一九)

春のお彼岸

3月17日(火)～23日(月)
本堂の受付は22日(日)午後四時まで

例年はお中目までですが、今回は日曜日までとさせていただきます。



令和二年 ことはじめ

令和も、はや2年となりました。今回は西来寺の令和元年の年末と令和2年の年始の様子をお伝え致します。

12月28日に西来寺本堂では年末のすず払いを執り行いました。たくさんの御門徒さんがボランティアで参加して下さり、総勢十五名での大掃除です。境内掃除、はたきかけから、掃除機、雑巾掛け、仏様のお身拭い、仏華立て、水引、打ち敷(三角形の赤い布)、お供え餅のお飾り・・・と、やることは盛りだくさんです。しかも新年を迎えるお飾り(行事ごとにお飾りが違う)は年に一回のことなので、皆どこか不安げ。多分、全部正確に把握しているのはご住職だけなのでは・・・しかし、今年も早かった！毎年どんどんかかる時間が短くなっているようです。今年午後三時前にはお正月の装束が全て整えられました。門徒さんパワーに脱帽！

煩惱の数をはるかに超えて、197となりました。(終了してもまだ人が集まってきた)こちらも暗くて寒い中、たくさんの門徒さんが手伝いに来て下さいました。心から感謝です！

1月1日10時からはきれいに整えられた本堂で、修正会が勤められました。天気も良く清々しく澄み切った空気に体感じます。参加して下さる皆さんもお正月の出で立ちで本堂にきれいで私、坊守は眠たい目でもぼんやり「いなくきれいだな」と眺めています。

たくさんの行事にご協力頂いた皆さま、本当に有り難うございました。そして本年もよろしくお願いいたします！



てくてく むっちゃん

親鸞聖人の最初の奥様は誰？

12月、私、坊守は仏教学者佐々木正先生(梅原猛先生とフィールドワークをした方)と、西来寺報編集の野木村さんと一緒に京都の西岸寺様を訪ねました。親鸞聖人の最初の奥様を調べるためです。現在の通説では恵信尼となつていますが、それに私は昔から納得できないのです。当時は後白河法皇が「隠すは上人、せぬは仏」といったように、仏教界において結婚は最大のタブー。ではなぜ法然上人に対して「すかさねみひらせて・・・中略・・・地獄は一定すみかぞかし」とまでいつていた親鸞聖人が結婚したのか、それが恵信尼では説明ができないのです。ではそれは誰か。それが西岸寺様に眠る九条関白令嬢玉日姫です。ペールを一枚一枚剥がしていくようにその事実を明らかにしていこうと思います。年内に冊子を発行予定です。乞うご期待！



健康コラム

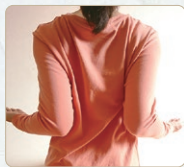


お家ヨガ②

春を迎える身体の準備

冬も終わり春を迎える身体の準備は出来ていますか？

寒い間に縮こまった肩や背中を動かして春の心地良い空気を胸にたっぷり入れてあげましょう。



- ① 脇を締め、手の平を天井に向けて肘を90度に曲げます。
- ② 息を吸いながら、肘を背中で寄せ胸を開きます。肩甲骨が真ん中に寄る事を意識します。
- ③ 吐きながら、肘を元の位置に戻します。

ゆっくりと長い呼吸で5回程繰り返します。

春の陽気と共に胸を開いて前向きに過ごして行きましょう。(まい)

★本堂で毎月開催！

まい先生のヨガを体験してみませんか？
西来寺本堂午後2時より、4月10日(金)・5月15日(金)・6月5日(金)